

2010年12月3日（金）、紅葉も最後の盛りを迎えた京都において  
ファイテン(株)主催の「第1回ファイテンルーム合同会議」が開催された。



(株)内藤建築事務所 ファイテン(株)  
河合取締役技術本部長 と 平田代表取締役  
強い技術連携を約束



(株)内藤建築事務所 ファイテン(株)  
中嶋取締役営業本部長 と 平田代表取締役  
発展的な営業連携を約束

開催にあたりファイテン(株)の施設部担当者より、ファイテンルーム企画がスタートしてからの2年間で多く企業がこの企画に参画し連携を深めていくことができました。そして、この連携の鎖となっているアクアメタルの持つ可能性とそれを活用したファイテンルームの今後の展望を改めて認識していただき、更なる連携強化の基にこの冷え込む建築業界に新風を送りたいとの開会の挨拶。

まず、(株)内藤建築事務所の取締役営業本部長であり、(株)コストレードの代表取締役である中嶋より  
テーマ①「医療・介護施設とファイテンルームの将来像」として、医療・福祉の今後の施策・動向とそこからのニーズを捉えたファイテンルームの営業推進・展開についての提案を発表。



(株)コストレード  
中嶋代表取締役

「福祉施設」は、第5期福祉計画での見直しを踏まえ、広域型の介護福祉施設の新規整備と50～70床の既存施設の増床整備が見込まれる。又、

社会医療法人の介護福祉施設への参入を可能とする規制や、都心部での基準面積の緩和等によりリニューアルでの整備も視野に入れる必要がある。

「住宅」は、高齢者の住宅施策として高齢者専用賃貸住宅がニーズの中心であり、充実した介護サービスを提供できる医療法人や社会福祉法人が運営する高齢者専用賃貸住宅が必要となると考える。

「在宅介護」は、認知症対応型施設の充実が絶対的に必要である。国の在宅介護への傾斜も踏まえ、グループホームや小規模多機能型施設、お泊まりデイが中心となる。ここでのファイテンルームの実践が利用者個人の住宅での導入に繋がるため、重点的に展開することが最重要と考える。  
(右上へ続く。)

「医療」については、緩和ケア病棟・精神科病棟への展開が重要。終末期医療の場となる緩和ケアは、従来の病室とは異なる家族と過ごす安らぎの空間が求められている。

「医療」におけるもうひとつのターゲットとして産婦人科がある。少子化の中で患者に選ばれるクリニックとして差別化や付加価値を求めため、非常にニーズは高いと考える。各カテゴリーでの動向・ニーズを捉えて、内藤建築事務所グループの特性を活かして、営業展開していく。

パナソニックがコンビニエンスストアで実践している設備機器を自社製品で一括納品し、まるごと空間を囲い込むパッケージ化での展開や、竹中工務店が実践している「神経建築学」という考え方からも、各連携企業がもつ商材を空間としてパッケージ化し、その空間に現代人が求める“安らぎ・リラクゼーション”を付加価値化して、健康志向型「まるごとファイテン」というものを提案していく。今後はこういった質の高い提案により営業展開していく事が必要であり、この質が量へと繋がっていく。

このファイテンルームは、医療福祉の動向やニーズにマッチするものであることを再確認し、今後の展開を期待できる提案となりました。

## 【ファイテンルーム納入実績】

- ・ 京都第一赤十字病院
- ・ 社会福祉法人 弥勒会  
特別養護老人ホーム  
日野しみずの里
- ・ 社会福祉法人 湖南会  
障害者支援施設 蛍の里  
作業棟・ショートステイ棟
- ・ 北山病院 みなみ棟 (精神科病棟)



テーマ②「アクアチタン素材を利用した新規企画の提案」として、(株)メディカル経営研究センター 山村氏と(株)イトーキ 舛田氏が講演された。



(株)メディカル経営  
研究センター 山村氏

準個室ユニットは、従来カーテンで仕切られていた病室（大部屋）を家具で間仕切る事で、ある程度のプライバシー空間を確保できる商品で、個室料より安価な金額設定とすることで、今までの個室か大部屋かという二者択一に、準個室という選択肢を提供できる。まずは患者さんに喜んで頂き、その延長線上で病院の収益に繋がる環境整備を目指している。病院の動向として、個室・4床室が増えており、2床・3床室が減ってきている。

この流れは今後も続くと考えられ、(株)コストレード 中嶋氏の話にもあった緩和ケアへの転用を含めた病院の改修・リニューアルが進みこの準個室ユニットで空間を構成していく考えはニーズに合っていると考えている。また、今後ある程度は病院の新築も計画されており、そこへの導入も見込んでいる。病院の今後の動向と病室環境のニーズにも、この準個室ユニットはマッチしており、そこをファイテンルームとする事で質の高いリラクゼーション空間を創造でき、より良い病室環境を提供できると考える。

我々の目指すところとファイテンが目指すところが同じである事が確認できた。と最後に述べられました。

(株)イトーキ 営業本部 プロジェクト推進部  
市場開発室PM 舛田氏



イトーキでは現在、マテリアルの部分からアクアチタンを含浸させ、更に質の高い家具とするための研究・試験を行っている。将来、ファイテンチェア（織り・染料の段階からアクアチタンを含浸させる。）を実現させたいと思っている。21世紀の空間・家具のコンセプトに上質感・ゆとり感・こだわり感であると考えており、ファイテンとの取組み（アクアチタンを含浸した家具により、空間を構成していく取組み）は正にそのコンセプトにマッチしている。異業種で連合を組んでひとつのマーケットに攻めていくやり方は、今後の主流であり益々盛んになってくる。そういった意味でも各々の得意分野を持ち寄って連携するファイテンルームは、その先駆的な企画と確信している。

こういったコラボレーションの意義・価値と発展性への期待を述べられました。

続いて、ファイテン(株)平田代表取締役より『ファイテンルーム』の今後について講演された。



ファイテン(株)  
平田代表取締役

展開の広がり、スピードに驚いている。以前からファイテン商品を置いているだけでリラックスできるという実感があり、部屋全体をファイテンに出来ると感じていた。

(ファイテンルームみたいなものが出来ると感じていた。)しかし、ファイテンルームを作るという事は施工する事。建築においては知識が無く勝手が分からない。そんな中で(株)内藤建築事務所との出会いは運命で、赤い糸どころか、赤いワイヤーで結ばれていると感じている。いくら、ファイテンのアクアチタンが良くても建築となると施工の悪さでファイテンルーム自体の品質・評価も悪くなる事を教わった。ファイテン単独で進めていたらどうなっていたか分からない。

器具を使えば身体が健康になるのは当たり前。ファイテンルームはそこに居るだけで、リラックスできる（やすらぎを感じる）のが大きな価値。物理的・科学的なアプローチではなく、全く新しい身体へのアプローチを人間は本能的に感じているのではないか。(次頁へ続く。)



※プライバシー保護の為、部分的に加工処理したイメージ写真を掲載させていただきます。

アクアチタンの“リラックスサポート”を、24時間365日享受できる環境づくりをコンセプトに、2年間に渡り、【アクアチタン素材提供】元であるファイテン(株)と【設計・施工・監修】の(株)内藤建築事務所、(株)コストレードとして提携し企画を進めてきたのが『ファイテンルーム』です。

ファイテンは健康を提供している。健康を求める人・・・どこか身体に違和感を感じているといった人が、ファイテンの良さを感じ、そういった体感をして頂く事が人の欲求を駆り立てて人の行動を呼び起こす。ファイテンの商品は感じさせる力がある事を確信しており、感じる商品づくりにおいて、ファイテンの品質で、皆さんの期待を裏切るようなことは無いと思います。本日集まった企業の皆さんにファイテンの良さを再認識して頂いて、今後感じるファイテンルームづくりを展開して頂きたいと思う。

ファイテンの品質におけるこれまでの実績と人間の健康に対する欲求が、ありがたいことに“ファイテンを求めてくださっている”と熱く語られました。

午後からは、医学的な見地での講演がありました。

まずは、京都府立医科大学発のベンチャー企業（アクアメタル研究会）(株)バイオマーカーサイエンスの内田代表取締役より「これからの予防医学について」の講演がありました。



(株)バイオマーカーサイエンス  
内田代表取締役

講演内容は、「疾病予防バイオマーカー」という、病気になる前の、また病気になりつつある状況を判定できる指標を見つけ出し、それを用いた予防医学の研究というものについてでした。疾病予防において免疫力は重要であり、その免疫力を高めるにはリラクゼーションが効果的で、ここでもアクアチタンの予防医学の分野への発展の可能性を感じさせる内容でした。



京都府立大学 大学院  
青井先生

最後に、アクアチタンの素材を学術的に研究されている、京都府立大学大学院の青井先生より、「アクアチタンルームについての研究結果」として、

今年の9月7日、ホテルグランヴィア京都にて開催された「第二回アクアメタル研究会、研究者シンポジウム」において発表された内容の日本語での講演がありました。

※アクアチタンについての詳細は、「アクアメタル研究会」をご覧ください。  
(『アクアメタル研究会』で検索)



今回、第一回目のファイテンルーム合同会議ということで、ファイテンルームの魅力・将来に賛同する企業が初めて一堂に会する、画期的な場となりました。

本日は話された内容はどれも、このファイテンルーム企画の将来性を再確認できるものであり、今後マーケットへ打って出るための営業展開を具体的にイメージするものとなりました。ここに集まった各企業が共通のイメージを持ち、更に連携を深めることで、我々自身が想像している以上の広がり期待できる有意義なものでした。

#### 『ファイテンルーム企画』 参画企業

株式会社 内藤建築事務所  
株式会社 コストトレード（内藤建築事務所グループ）  
ファイテン 株式会社  
株式会社 イトーキ  
嵯峨商事 株式会社  
駿河屋（頑固おやじ）  
大日本塗料 株式会社  
トキワ産業 株式会社  
富双合成 株式会社  
株式会社 メディカル経営研究センター  
株式会社 リンレイ